

令和 7 年度 事業報告書 上鳥羽北部いきいき市民活動センター

【指定管理者：一般社団法人 上鳥羽絆会】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 5 名（常勤 2 名 非常勤 4 名）

【人材育成の取組】

- ・職員定例全体会議：全員出席 1 回/月（毎月第 1 火曜日午前 9 時から）

当法人絆会会長も出席して、その月の事業予定の確認や日常業務についての意見交換を行います。月替わりで議長役を交代して会議進行の技術を身につけられるようにしています。

- ・事業会議：職員はそれぞれの希望により、市民活動支援及びサロン事業の担当責任者を務めます。そこで担当責任者が必要と判断した時に事業会議をもち、意見交換や進捗状況の確認を行い、内容をセンター長に報告します。滞っている時、困った時などはお互いが遠慮なく率直にアドバイスし合えるような雰囲気を目指しています。

- ・職員研修：「地域ケア会議」 1 1 月、3 月

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
4 4	5 6	4 9	5 4	4 9	4 7	5 9	5 4	6 4	5 8	6 5	6 3

(年間)

令和 6 年度：6 5 4 件 ⇒ 令和 7 年度：6 6 2 件（前年度比 1 0 1 %）

部屋別（件）

合計（上・下期）	
会議室①	133
会議室②	371
和室	158
合計	662

時間帯別（時間）

合計（上・下期）	
午前	327
午後	467
夜間	254
合計	1048

イ 利用状況

上期は昨年よりも実績が振るわず、件数増加の手立てを思案していましたが、下期の 6 カ月間は各月とも昨年よりも件数が多くなり、最終的には前年度比 1 0 1 %の微増となりました。その理由としては、1 0 月から新規で週 1 回キッズダンスのレッスンで利用される団体があったことだと思います。子ども達にダンスの楽しさを伝えることと付き添いの親たちの交流の場の提供を目的に始められた団体ですが、徐々に生徒数が増えて、利用時間も 2 時間から 3 時間に延長されました。また、地域の高齢者団体（末広会）が活動の活性化を図り、交流事業の回数を増やされたことも大きいです。時間帯別では、夜間の利用時間が全体の 2 5 %未満となっており、その時間帯の利用者の呼び込みも課題です。

ウ 利用促進に向けた取組

南区内にあった施設の閉鎖に伴い、そこでレッスンを開催しておられたいくつかの団体が当センターをインターネットで検索して、見学を兼ねて相談に来られるケースが数回ありました。皆さん、初めて「いきいき市民活動センター」のことを知りましてとおっしゃいます。そのようなときも丁寧に施設の案内をして、利用に繋がるような対応を心がけました。また、費用面で常々議題になる通信カラオケ装置のリース契約も利用のきっかけとするために継続しています。

長くセンターを利用されているお客様には、センターのことを口コミで広げてもらえるような声掛けをするなど、利用促進に向けた取組については、常に意識しています。

エ その他

サロンについては、平常時の自由使用は少ないです。事業の実施日には一定の参加者があり、その人たちがサロンに常設の〈ことしょ〉を利用するために立ち寄られることがあります。

サロン運営・活用事業のなかでは様々な発展がみられるようになりました。**2**の項目に後述します。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

情報発信については、センター独自のものとして「いきセンニュースレターつなぐ」を年2回発行しました。市政協力委員さんの協力を得て、学区全戸への配布を今年度も行うことができました。

事業の広報はSNSや紙媒体のチラシで行いました。SNS上で事業の申込や問合せをされる方も年々増えているので、メールと同じような頻度でチェックをするよう心がけています。

イ 取組の効果

介護美容の活動をされている団体とインスタグラムで繋がり、事業の講師として参加していただきました。また、地域の団体の活動をインスタグラムで発信したところ、問合せがあり紹介することもありました。

「いきセンニュースレターつなぐ」はホームページ上にバックナンバーを載せているので誰でもいつでも見てもらうことができ、地域以外にも発信を広げています。

(4) 管理運営

- ・センター長を防火管理者に選定
- ・同法人の中唐戸児童館の避難訓練（火災、地震）に参加
- ・日常の点検として各部屋、建物外周などを勤務職員が清掃時などに点検：毎日2回
- ・建物安全チェックシートにて点検、自治推進室に報告：毎月1回
- ・雨水排水口、屋上（太陽光パネル）を点検：年2回
- ・建物総合点検：年1回
- ・消防点検・館内清掃：年2回
- ・樹木剪定：年1回
- ・施錠後保安警備：毎日
- ・施錠後保安警備：毎日

外部業者に委託

等を実施

(5) その他

「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」

- ・地域や利用者の声をきき、運営に反映させることと同じくらいにセンター内での意見交換も重要と考えます。今年度、センター内のトイレを洋式に入れ替えていただきました。

きれいな状態を持続させるためにも今まで以上に清掃に気をつけることと各部屋の清掃も再度同様に意識することを共有しました。清掃の件だけでなく、職員が同じ意識をもち業務に従事することが施設運営の質を高めることにつながると思います。

- ・地域や住民のために何かできることはないか？という思いが一致した地域の2か所の施設とセンター3者が一緒に考え、行動を起こそうと3月に合同のイベントを実施しました。学区にとらわれず、南区社会福祉協議会や陶化包括支援センターからも協力をいただきました。これまでの地域交流で培った団体や個人の方々との信頼関係が実を結んで一步を踏み出せたと感じています。他にも学区で開催される事業や行事にはできるだけ参加するようにして、交流を保てるようにしてきました。声がかかれば事業の実行委員会にも入り、協働を通して〈いきいきセンター〉をより身近で、なくてはならない施設として受け止めてもらえるように努めました。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】エコ活動事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年 4月 ～ 令和8年 3月
- 2 開催場所：上鳥羽北部いきいき市民活動センター、学区内公園、中唐戸児童館、イオンモール桂川、立誠学区、右京区役所、醍醐いきセン、吉祥院いきセン、国際交流会館
- 3 参加人数：377名（把握できている人数）
- 4 協力団体等：認定NPO法人きょうとグリーンファンド、エコ学区サポートセンター
中唐戸児童館、醍醐いきセン、吉祥院いきセン、京都市環境保全活動推進協会
- 5 予算： 1,090,000円 / 決算： 1,109,544円

1 事業内容

- 地域の有志や関係団体で構成された任意団体「上鳥羽エコまちくらぶ」が企画・運営に関わり、多様な世代に向けて様々環境活動の体験の場をつくりだしました。
- ・エコ体験（8月）：展示品に触れたりゲーム等を通じて環境への知識を得る 子ども対象
- ・自然観察会（11月）：学区内の公園の自然を観察して多種多様な植物の営みを知る
- ・エコマルシェ（6月、9月、11月、12月、2月、3月）：センター内や地元地域にとどまらず、ロケットストーブを軸にした環境の啓発活動を実施
- ・児童館との取組（通年）：中唐戸児童館と連携をとり、子どもたちと共に環境活動を実施

2 準備段階での工夫

- 京都市環境保全活動推進協会の協力のもと、“どこでもトーク”の講師依頼を受けて他の地域でも環境活動の啓発ができました。特に大型商業施設内での事業は主催者との打合せや下見を入念に行いました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 「上鳥羽エコまちくらぶ」と伴走して地域外にも活動を広げていくことが目標。

（2）事業実施による目標の達成度

- 7年度は2か所のいきセンさんの事業のなかでエコブースを出展させてもらうことができました。どちらも地域に根付いた大きな事業であり、打合せの段階から参加することで当日までの参加団体への配慮や運営の方法など見せてもらうことも新たな学びとなりました。また、山科区内の児童館でも啓発活動を実施することができ、遠方ですが中唐戸児童館との連携のきっかけづくりができました。

○ アンケート結果「自然観察会」

- ・見るのも大事だけど残すのも大事だとおもった：5年生
- ・いつも公園を歩いていて何も思わなかったが、今後は植物の観察を楽しみたい：70代

4 今後の抱負

- 次年度も今までのことをブラッシュアップしながら継続させていきたいと考えます。
同時に賛同者を増やしていくことも重要と考えます。



8月 エコ体験



10月 立誠学区
ロケットストーブワークショップ
(2050CO2ゼロどこでもトーク)



11月 自然観察会



9月 イオンモール桂川
Live do you Kyoto

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】コミュニティガーデン「ohana」支援事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年 4月 ～ 令和8年 3月
- 2 開催場所：上鳥羽北部いきいき市民活動センター会議室 コミュニティガーデン「ohana」
- 3 参加人数：178名（団体）
- 4 協力団体等：いきいき上鳥羽プロジェクト、あんしんあんぜん上鳥羽推進委員会、上鳥羽向上委員会
- 5 予算：325,000円 ／ 決算：324,875円

1 事業内容

○ 地域の声からうまれたコミュニティガーデン「ohana」を拠点として、子どもから高齢者まで多世代の交流をすすめ、地域の活性化・緑化・防犯・自然環境保全に努める任意団体「ohana 会」の活動を年間通して支援しました。また、センターの市民活動支援の最終年度であることを念頭に事業展開しました。

- ・花を通した子ども育み事業（通年）：中唐戸児童館児童との《こどもかだん》事業を支援
- ・花の町づくり事業（通年）：上鳥羽自治連合会内団体のプランター設置事業に協力
- ・ローズウィーク開催（5月）：バラの開花時期に合わせて他団体と協力しながらイベントを実施。チラシ配布等の広報を支援
- ・ガーデン勉強会（11月）：バラの剪定などを学ぶ会の広報や環境設定を支援
- ・助成金申請情報、書類サポート（通年）：助成金申請情報の共有や書類作成をサポート

2 準備段階での工夫

- ohana 会会員との連携や信頼関係を深めるためにもセンター職員は普段からともに草抜きや清掃などガーデンの維持活動を行ってきました。
- ローズウィークが近くなるとガーデンの様子を頻繁に SNS に挙げて PR しました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ガーデンが多様な人たちが集まり繋がることのできる場となることと、団体が熱意を持ち続けながら自走化してもらうことが目標

（2）事業実施による目標の達成度

- 貸館利用者から新たに中心となって活動に参加してくれる人があらわれたり、会員が団体として団結し、吉祥院いきセンや市民活動センターの事業に積極的にブース出展してもらえたことが頼もしく思えたと同時に目標の達成感も感じる事ができました。

4 今後の抱負

- センター支援事業の最終年度としての取組を年間通して行ってきました。そのなかで《セブンイレブン財団》の助成金申請が採択されたことは、次年度からの団体の活動の後押しになると思います。センターは今後もサポーターとして活動を見守っていきます。



4月 見守りプランター



5月 ローズウィーク



4月 子どもかだん植え込み



12月 吉祥院いきセン〈ふれあいひろば〉

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】いきいき上鳥羽プロジェクト（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年 4月 ～ 令和8年 3月
- 2 開催場所：上鳥羽北部いきいき市民活動センター会議室 学区内公園3箇所 上鳥羽小学校等近隣施設や事業所
- 3 参加人数： 延べ 2,099 名
- 4 協力団体等：上鳥羽ネットワーク ohana 会 上鳥羽小学校 洲崎排水機場 上鳥羽自治連合会
- 5 予算：1, 240, 000円 / 決算：1, 315, 872円

1 事業内容

○ 地域の有志メンバーで構成された「いきいき上鳥羽プロジェクト」のサポートと協働を通して地域課題の発掘と解決、個人や団体同士の出会いの場づくりの支援などを行いました。

- ・ふらっとスペース（5月,12月）：地元企業や施設と連携した地域交流事業実施の支援
- ・見守りプランターづくり（4月）：学区内の連携事業 ohana 会と地域との繋がりを支援
- ・いきいき健康づくり事業（通年）：各公園のラジオ体操サポーター支援と健康に繋がる事業の提案と実施を支援
- ・上鳥羽の歴史を探る（通年）：小学校の郷土資料室の維持活動手伝いと学区の水害に対する高い意識の表れを事業化することを支援
- ・コミュニティー回収（毎月1回）：南エコまちステーションの助成事業を活用し環境活動
- ・ニュースレター「つなぐ」発行（8月,12月）：地域の情報発信を目指して発行

2 準備段階での工夫

- 上鳥羽の歴史を探る事業では、2年前から水害に係ることを取材したり講演会を行ったりしてきました。今年は普段ほとんど一般見学を受け入れない施設の見学の実現のため、自治会を通じてスタッフの思いを施設に伝えて交渉してもらいました。
- ニュースレター「つなぐ」の発行は、若手ボランティアスタッフのアイデアで紙面に新たなコーナーができました。活動時間が限定されるなか、情報の取りまとめや構成など互いの負担が少なくなるよう配慮しています。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 「いきいき上鳥羽プロジェクト」が地域の様々な場所に出向き、課題を拾いながら事業の企画や運営を行っていくことの支援が地域全体の住民同士のつながりの深まりやこれからも地元を大切にする気持ちの基盤に繋がっていくことが目標

（2）事業実施による目標の達成度

- 今年もプロジェクトメンバーは増えることも減ることもなく、一年間意欲的に活動してもらうことができました。その熱意が住民の皆さんへも伝わっていると実感できることも多いことに達成感を感じます。
- ラジオ体操サポーター意見交換会での感想
 - ・高齢化により、体操の参加者が減少してきたので広報について再度考えていきたいと、これからの課題にしていくべき意見がありました。サポーターの皆さんもラジオ体操事業の今後についていろいろと考えてもらえていることが頼もしく思います。

4 今後の抱負

○ プロジェクトメンバーを増やしていくことはなかなか難しいと思いますが、ピンポイントで事業に関わってもらえるようなボランティアスタッフがうまれれば、今後の自走化がもっとスムーズになるのではないかと思います。



5月 ふらっとスペース



12月 しめ縄作り(藁掃除)



3月 出張ふらっとスペース



11月須崎排水機場見学会



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】おひさまカフェ（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年 4月 ～ 令和8年 3月
- 2 開催場所：上鳥羽北部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数：171名（団体）
- 4 協力団体等：朗読同好会、マイルド山本マジック教室、介護レク、ブーゲンビリアチーム
- 5 予算： 555,000円 / 決算： 560,075円

1 事業内容

○ 月に一度、決まった時間に誰もが気軽に足を運んで催しや交流を楽しめる場所づくりともなるよう、年齢や性別を問わず、互いを尊重しあえる場所であることを基本に毎月の事業を展開。また、活動の企画運営の協力者を発掘、自主的な活動を目指し担い手の育成と支援に注力しました。

・利用者交流会(毎月1回)：センター利用者や事業参加者からのニーズや市民活動をされている方の提案から、「うたごえカフェ」、「朗読会」、「お涼みカフェ」、「ルーシーダットン体験」、「介護美容のお話しとハンドケア体験」「クリスマス会（利用者発表会）」など、月毎のテーマを実施しました。

2 準備段階での工夫

○ 参加者の「こんなことがやってみたい」の声から月ごとのテーマを設定する中、来館者や別の事業での交流やSNSを通し情報を得たり人脈の広がりを意識して取り組みました。そのような中、ボランティアスタッフが「介護美容を広げる活動」をされている方と知り合いということで、InstagramのDMのやり取りから「介護美容のお話しとハンドケア体験」を実施し、介護は、する側にもされる側にも知らず知らず負担がかかりストレスになっていくもの。ネイルやメイク、ハンドケアなど簡単な介護美容を体験することで双方が“笑顔”になる。などをお話しいただき、新たな繋がりができました。介護レクの代表者からは、「自らの活動のPRにもなりました。」と今後の協力も申し出てくださり、「介護」という身近なテーマでもあり、参加者からも期待の声が寄せられ好評の企画となりました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 参加者同士の交流のなかで、自ら楽しみを見つけ共有しあうことで自身だけでなく、地域の活性化にもつながっていくことが期待する効果でしたが、同時に事業内で「何かやってみたい」の思いを持つ人を支援すること、また、協力者を増やすことも目標にしました。
- 市民や団体に積極的に参加してもらうことで、活動への理解を深め、参加者自らが興味や楽しみをみつけるなど一緒に活動する仲間づくりの場ともなることも目標。
- 月に一度決まった時間に開催することで、外出のきっかけにもなっています。
- うたごえカフェは、提案者の活動の自立・自走化が目標。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 参加者同士の交流が活発になり、参加者の中から自ら「やってみたいこと」の提案が出てきたことで事業に対するモチベーション向上につながりました。
- 「うたごえカフェ」の提案者は、企画の実現のため自ら活動スタッフとも連携し運営がスムーズに組み立てられ、主体的に活動を進められたことは成果であると思います。加えて担当職員は伴走者としての役割を務めたことで事業実施の達成度は高いと思います。
- 「今月はどんなテーマかな?」「もう一回〇〇のテーマで開催して欲しい」「声を出して歌うことが楽しい!」「うたごえカフェの回数を増やしてほしい」などの感想が寄せられ、参加者からは好評でした。

4 今後の抱負

○「おひさまカフェ」が交流の場として定着し、何かしらの活動に参加したい者同士が各々の活動のPRと"仲間づくり"の場ともなっています。今後は、そこから生まれた"仲間"同士での新たな活動の立ち上げに協力するなど「スタートアップ」支援に取り組みます。
・活動者とボランティアスタッフの連携がより強固になり、運営のさらなる自走化を目指すとともに、担い手の育成と支援を継続します。



4 月 朗読会



12 月 クリスマス笑(利用者発表会)



10 月 ルーシーダットン体験



9 月 うたごえカフェ



2 月 介護美容のお話しとハンドケア体験

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】 なごみスペース～ようこそ～事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年 4月 ～令和8年 3月
- 2 開催場所：いきいき市民活動センター サロン 会議室 等
- 3 参加人数：610名（団体）
- 4 協力団体等：いきいき絵本クラブ
- 5 予算：540,000円 / 決算：522,185円

1 事業内容

○ 多様な人たちが交流できる“なごみのスペースづくり”を参加者自身がつくりだせる支援を行い、市民の社会活動のきっかけとなるような事業を展開しました。

・いきいき Wednesday（通年）：毎週水曜日を活動の日として、折り紙や体操、淹れたての珈琲を楽しむなど多様な活動を実施

・講演会（10月）：「おんがくあそびコンサート」として、幼児から大人までが参加

・ぴゅーぴる Saturday（通年）：土曜日午前中の小学生の活動の場づくり

・よるからと（8, 10, 1月）：中唐戸児童館と共催 中高生が自主的に活動する場の提供

・クールシェアエアコン（8月）：学習会やワークショップを実施

2 準備段階での工夫

○ 講演会の講師は活動スタッフが所属している音楽ユニットに出演してもらいました。コンサートまでの準備や当日の対応など本人が中心となりスムーズに進めることができました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○ サロンが〈個と社会をつなぐ拠点〉〈多様な世代間交流がうまれる拠点〉となることが目標

（2）事業実施による目標の達成度

○ シェアエアコン期間に“きょうとグリーンファンド”の紹介で、家電リサイクル専門工場の出前授業を実施しました。子どもから大人までが参加し、交流できました。

また、「おんがくあそびコンサート」も同様に多世代が参加して楽しめる事業になったことは、サロン事業の発展を実感できました。

○ アンケート結果「おんがくあそびコンサート」

・久しぶりに子どもたちと一緒に歌ったり遊べたり、本当に楽しかった：60代

・楽器の演奏も唱歌から今の曲まで、皆が楽しめたと思う：70代

など、こちらのねらいと同様な意見をいただいたことは、よかったと思います。

4 今後の抱負

○ 今年度から中唐戸児童館と中高生企画を共催していくなかで、いままで接点が少なかった中高生の声をきくことができるようになりました。そこから、夜間のサロンを「学習スペース」として、提供する事業を計画しました。

今後もサロンならではの自由度と柔軟性を活かせるような事業を参加者の声を拾いながら
とものつくりあげていきたいです。



3月 お祝いタペストリー作り



8月 環境出前事業



10月 おんがくあそびコンサート



1月 よるからと
ユースさん☆ようこそ

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和7年度実績：517,600円（前年度比111%（466,100円））

〔内訳 会議室等：517,600円
付属設備：該当なし ※自主事業分を除く
スモールオフィス：該当なし〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和7年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

① 案内表示はわかりやすかったですか

満足	普通	不満	無回答
69・6%	28・7%	0・9%	0・9%

② あいさつやお声かけはきちんとできていましたか

93・0%	7・0%	0・0%	0・0%
-------	------	------	------

③ 身だしなみは業務にふさわしいものでしたか

90・4%	9・6%	0・0%	0・0%
-------	------	------	------

④ 表情や態度は感じよかったですか

90・4%	9・6%	0・0%	0・0%
-------	------	------	------

⑤ 言葉使いや説明は、親切でていねいでしたか

93・9%	6・1%	0・0%	0・0%
-------	------	------	------

⑥ 説明は的確で分かりやすかったですか

87・8%	11・3%	0・0%	0・0%
-------	-------	------	------

⑦ 整理、整頓は行き届いていましたか

88・7%	11・3%	0・0%	0・0%
-------	-------	------	------

(2) センター独自アンケート

- ・自然観察会（エコ活動）：概ね満足
- ・エコ体験（エコ活動）：概ね満足
- ・クリスマス笑（おひさまカフェ）：概ね満足

3 意見等への主な対応状況

○アンケート内で「和室にも鏡がほしい」とありました。移動可のものがあるそうなので安全面と費用を検討中です。また、普段から各部屋と受付前に「ご意見箱」を設置して気軽に声がいただけるようにしています。その中で、乾電池の回収に困っている、との声があったので、回収 BOX を設置しました。天ぷら油・牛乳パックと一緒にまち美化さんが引き取っていかれます。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

・取り組んだ事業の総括

・貸館事業については前年度よりも微増となりましたが、目標件数の700件には届きませんでした。それでも、はじめていきいきセンターのことを知り利用を継続されている団体や今年もセンター事業から立ち上がったサークルがあったということは、よい傾向だと思います。

・市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業については、「コミュニティガーデン「ohana」支援事業」の自走化に向けて ohana 会会員や地域住民とともに丁寧に事業を進めていきました。今年もガーデンのバラの花は沢山咲き、今までで最大の来客がありました。これからも ohana のいちばん近いところで見守りを続けていきます。

「なごみスペース～ようこそ～事業」では、参加者の中から上鳥羽小学校の新1年生にお祝いのタペストリーを贈ってはどうか？という案ができました。普段取り組んでいる折り紙で仕上げてプレゼントすると、保護者からもたいへん喜んでいただけました、という声を小学校からいただきました。また、同事業のなかの“いきいき絵本クラブ”が学区の山ノ本児童館からクリスマス会への出演の依頼を受けて、紙芝居等を上演しました。

“個がつながり仲間となって社会とつながる”という展開を支援できました。

・今後解決すべき課題

・各事業のなかでたくさんの個人や団体とつながりがもてましたが、それを充分にいかせていないことが課題です。日々の業務に時間をとられてしまい、市民活動支援事業にしっかりと向き合えていないと感じます。新たな人材の確保とそれぞれの職員がさらに適所で長所を発揮できる環境を整えていきたいです。

・次年度に向けた対応

・8年度からサークルの立ち上げのスタートアップを支援する事業を行います。すでに申し込みがあり、チラシ作成・配架等の支援を行っています。また、地域課題解決事業として「防災」「環境」をテーマにし、地域の施設や企業と連携しながら多角的にすすめていく計画をしています。

次年度も多くのつながりが期待できます。それをしっかりと受け止めて、活動支援の質の向上を目指したいです。

・コンプライアンスや個人情報の保護には細心の注意を払いながら事業運営していきます。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

○ 特筆すべき施設運営に関する重要又は異例な事項はありませんでした。